



No.65

令和4年4月26日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



※撮影時のみマスクを外しています。

関連記事 P20

Contents

特集	議会報告会/当初予算について	2
臨時会・定例会	条例改正・補正予算・当初予算などを審議	6
活動報告	地域振興対策特別委員会所管事務調査 など	12
一般質問	学校教育について など 3人登壇	16
追跡	移住者交流会について(ちょっと深掘り)	19

ご意見・ご質問
議会からの回答

議会改革（通年議会・定数・報酬）

●議会改革

議会改革は非常に重要なことだと思うので、多くの住民の意見を取り入れることが大事であるし、またその機会を作っていくことも必要だと思う。

議会では町民の方との「語る会」の開催について、時期や時間、方法の試行錯誤を重ね、さらに参加しやすい意見交換の場となるよう工夫していきます。



●通年議会

町民からすると、年間を通じて活動してほしいので良いと思うが、説明を聞くとメリットしかないように感じるが、拘束が多すぎないのか。

通年議会は1年を通じて会期中となります。メリット、デメリットについては、議会だより64号の3ページ「議会改革の取り組み」でも掲載させていただいております。



議会だよりは
こちらから

●定数

議員定数を減らすと委員会でも十分な幅広い議論ができないのではないかと不安に思う。

「委員会で討議できる人数として7~8人を基準とする」という考え方で、おおい町議会では各常任委員会の構成を7人以上としています。

●報酬

報酬について理解はするが町民の理解が必要。

おおい町議会では「活発な議会活動が町民の有益に繋がる」という考えを基に議会改革を行っています。その中で、通年議会の導入や定数、報酬の検討を進め、いただいたご意見をもとに慎重に協議し、最適な判断と検討結果を提示させていただきます。

教育・防災など

●教育関係

生徒用タブレットが整備されたが、うまく運用されていないとの話を聞く。整備して終わりではなく、運用についても議会としてチェックするべきである。

タブレットを家庭に持ち帰り活用することについてはさまざまな課題も見えてきています。効果的に活用できるように運用状況を確認していきます。(P16に関連質問あり)

●防災関連

コンサルタントが作った防災マップは本当に地元の事情が分かってできているのか。自主防災組織がない地域は不安がある。

町では各家庭にハザードマップを配布するとともに、地域の状況に応じた集落ごとの自主防災マップを作成し活用していただくための研修会を開催しています。また、防災専門員を置き、自主防災組織づくりへのサポートなども行っています。(P18に関連質問あり)

議会報告会（議員と

おおい町議会では、町民の皆さまへの活動報告や意見交換を行う場として、として、本郷、大島、佐分利、名田庄各地区で開催しました。いただいた

いただいたご意見やご質問を抜粋しました。全ての質問や回答はホームページに掲載いたしますので、ぜひご覧ください。

予算決算・広域行政

●決算

決算で監査委員の指摘に、今後自主財源財源の減少と公共施設の維持補修費の増大などを懸念する記述があるが、どのように考えているのか。

議会では、新たな財源を確保するために国などの関係機関への要望活動を強化し、公共施設等総合管理計画に基づいた生活インフラ整備の管理が確実に実行されているか監視をしていきます。

●広域事業

広域ごみ処理施設は高浜町だが、ゴミは有料か、また、斎場はどうするのか。

高浜町に建設中の広域ごみ処理施設は、小浜市、若狭町、おおい町、高浜町の共同利用となるため、運営や料金体系について協議中です。(P13に関連記事あり)



道路

●道路

県道岡田深谷線はいつごろできるのか。

3ルートの内から1ルートに決定され、現在詳細設計の調査を実施中です。完成年度については、現時点では不明です。

産業

●SEE SEA PARK (シーシーパーク)

チャレンジショップ棟は、随分複雑な建物となっているが、なぜあのような難しくお金もかかる建物にしたのか。設計業者はどこか、どのように決定したのか。

優れた設計者を選定するするため、設計プロポーザル審査委員会を開催し、9社から提案書を受けヒアリングの結果、委員会において最優秀者の株式会社森下建築総研に決定されたものです。

●農業

個人で農業をしているが、農機具代が非常に負担になり継続が難しくなっていくため、農機具購入の補助金が出るようにならないか。

町では、個人に対する農機具購入支援策について可能性調査を実施しましたが、希望者は2割にも達せず、家計費補助となることから、見送ることとなりました。

令和4年度 **当初予算** 可決!!

令和4年度の当初予算は、3月に町長選挙が行われる関係から「骨格予算」となっています。骨格予算とは政策に係る収支を除き、人件費など義務的経費を主体とした必要最小限の収支を計上したものです。

本予算は6月に補正予算として計上されることとなります。それぞれの事業についての質疑もご報告します。

子育て・教育

●学校ICT教育推進事業（小・中学校） 5,322万円

小・中学校でICT教育機器を活用した学習の推進やICT支援員に係る経費など（P16に関連記事あり）

- 問 ICT支援員の配置とカリキュラム支援の方法は
- 答 支援員は1名で、各学校を月に2回訪問する。業務はICTを活用する授業の補助、機器の準備や設定、教材作成などを行う。

●進学サポート事業 3,613万円

大学や専門学校などに在学する学生の保護者に経済的サポートを行い、進学する学生に町の情報発信を行い、ふるさと“おい”を思う気持ちを醸成し、Uターンを促進するために給付するもの

●病児デイケア事業 938万円

病気または回復期のため集団生活が困難な小学3年生までの幼児児童を一時的に預かり、子育てと就労の両方を支援するもの。今年度から周辺市町など広域での利用について協議を進める。

- 問 広域利用は、おい町から他市町に、他市町からおい町にという相互の利用が可能になるということか。
- 答 保護者の勤務地などに合わせて利用ができることも併せて今後協議調整を行う。



産業団地造成地

商工

●企業振興対策事業 2億2,892万円

産業団地造成工事や企業誘致に係る経費など

- 問 産業団地の分譲単価についての考え方は。
- 答 現在造成工事中で、ある程度工事費の精算の目処がついた時点で決定していきたい。戦略的な金額設定もあるが、事業投資額の回収は必要であるとする。

●チャレンジショップ整備事業 2,645万円

チャレンジショップ棟維持管理委託料やイベント開催委託料

- 問 維持管理委託料は、施設の利用料収入により精算されるか。
- 答 予算では7月に開業する計画で利用料を見込んでおり、年度を通じ事業を行った後に精算を行う。

文化

●文化財保護事業 926万円

石山城跡や土御門家歴史保存調査などの文化財保護などに係る費用

●若州一滴文庫管理事業 3,414万円

若州一滴文庫の施設維持管理に要する経費

●公民館活動事業（4公民館） 396万円

公民館教室の開催などに要する費用

- 問 公民館4館体制の連携や合同事業の計画は。
- 答 定期的に会議を行い連携を進め、今年度も、各公民館の地域をまわる取り組みなどの合同事業を計画している。



工事の進むチャレンジショップ棟



若州一滴文庫

令和4年度当初予算

会計	当初予算額		
	本年度	前年度	増減率 (%)
一般会計	76億5700万円	117億300万円	▲34.6
後期高齢者医療	1億1565万円	1億125万円	14.2
国民健康保険	8億2608万円	9億1433万円	▲9.7
国民健康保険診療	8240万円	9479万円	▲13.1
介護保険	9億7412万円	9億6515万円	0.9
介護サービス	636万円	616万円	3.1
簡易水道	1億7448万円	2億7580万円	▲36.7
農業集落	2億4298万円	3億7765万円	▲35.7
特定環境保全公共下水道	9214万円	1億2271万円	▲24.9
合計	101億7123万円	145億6086万円	▲30.1

令和4年度歳入

項目	予算額
自主財源	44億7920万円
依存財源	31億7780万円
合計	76億5700万円

うち原子力関連収入
44億5506万9千円

【数値について】
※金額は万円単位で表しているため
合計と一致しない場合があります。

一次産業

- **農業活性化支援事業 3,000万円**
生産性の向上や就農を図るため、認定農業者や集落営農組織などを対象に、機械・施設などの整備に助成するもの
- **米の品質向上対策事業 2,526万円**
高品質・高食味・高収穫の米づくりの基本となる土づくりに助成するもの
- **町行分収造林事業 1,275万円**
町行分収林の伐採、分収造林契約の更新業務費
- **漁場経営安定化事業 900万円**
大島漁業協同組合が組合員に販売している船舶用燃油に対して助成するもの
- **水面多面的機能発揮対策事業 556万円**

☞ 事業の詳細は。
☞ 大島小学校で、ムラサキウニの除去が磯焼けの原因への対策になることを学んでもらうための活動に対し、支援を行う。



ムラサキウニによる磯焼け

くらし・地域

- **防災対策事業 3,579万円**
自主防災組織の活動支援や住民避難に必要な資機材整備費用など、防災活動を総合的かつ計画的に実施するための費用
- **除雪対策事業 4,284万円**
除雪計画に基づき町道路線などの除雪を行うことにより、安全で円滑な道路交通の確保を図るもの
- ☞ 除雪事業者やオペレーターの現状は、負担が重くなっているのではないかと。
☞ 事業者も除雪機械やオペレーターの確保に苦慮している状況である。町で機械をリースするなど、できるだけ除雪作業に参入しやすい状況を作るよう努力していく。
- **おおいの住まい支援事業 1,395万円**
分譲地購入者や多世帯同居、県産材使用でのリフォーム、移住者や新婚、子育て世代への住まい支援を行うもの
- ☞ 住宅の建設に要する計画から竣工までの期間を考えると補助金として使いにくい制度になっているのではないかと。
☞ 住宅建設という長期間を必要とする事業についての補助金であることから、今後、制度について検討をしたいと考えている。
- **橋梁維持補修工事 5,710万円**

☞ 明神橋の長寿命化と新設についての考えは。
☞ 現橋梁の老朽化に伴う長寿命化を図りつつ、別の場所での橋梁新設も視野に入れて検討を行う。



明神橋

令和4年第1回（1月）臨時会 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先
議案第1号	工事請負変更契約の締結について（河川改良工事（畑村川））	〈全協〉	原案可決	P7
議案第2号	工事請負変更契約の締結について（漁港施設整備工事（畑村防波堤））		原案可決	
議案第3号	工事請負変更契約の締結について（急傾斜地崩壊対策工事（岡田地区））		原案可決	
—	委員会の閉会中の継続調査	—	閉会中の継続調査	

令和4年第2回（3月）定例会 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先		
議案第4号	令和3年度一般会計補正予算（第6号）	〈予算〉	原案可決	P8		
議案第5号	令和3年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決			
議案第6号	令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決			
議案第7号	令和3年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第3号）		原案可決			
議案第8号	令和3年度介護保健事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決			
議案第9号	令和3年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決			
議案第10号	令和3年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決			
議案第11号	令和3年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決			
議案第12号	令和3年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決			
議案第13号	個人情報保護条例の一部改正について		〈総務〉		原案可決	P8～9
議案第14号	住民の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について				原案可決	
議案第15号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について				原案可決	
議案第16号	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決				
議案第17号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決				
議案第18号	国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決				
議案第19号	若州一滴文庫の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決				
議案第20号	保健・医療・福祉総合施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決				
議案第21号	令和4年度一般会計予算	〈予算〉	原案可決	P9～10		
議案第22号	令和4年度後期高齢者医療事業特別会計予算		原案可決			
議案第23号	令和4年度国民健康保険事業特別会計予算		原案可決			
議案第24号	令和4年度国民健康保険診療事業特別会計予算		原案可決			
議案第25号	令和4年度介護保険事業特別会計予算		原案可決			
議案第26号	令和4年度介護サービス事業特別会計予算		原案可決			
議案第27号	令和4年度簡易水道事業特別会計予算		原案可決			
議案第28号	令和4年度農業集落排水事業特別会計予算		原案可決			
議案第29号	令和4年度特定環境保全公共下水道事業特別会計予算		原案可決			
議案第30号	若狭広域行政事務組合規約の変更に関する協議について		〈総務〉		原案可決	
議案第31号	令和3年度一般会計補正予算（第7号）	〈全協〉	原案可決			
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〈全協〉	承認			
同意第1～14号	農業委員会委員の任命について		同意			
請願第1号	政府の新型コロナ禍で米価格暴落対策が皆無の中自治体独自の稲作農家への直接支援策を求める意見書提出についての請願	〈産建〉	不採択	P11		
陳情第1号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出をお願いする陳情書	〈総務〉	採択			
発委第1号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書について		原案可決			
—	選挙管理委員会委員の選挙	〈全協〉	当選			
—	選挙管理委員会補充員の選挙		当選			
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告および派遣			
—	委員会の閉会中の継続調査	—	閉会中の継続調査			

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

賛否が分かれた議案

	屋敷	田中	堤	桑田	細川	原田	藤原	辻	尾谷	猿橋 ^啓	浜上	今川	松井	猿橋 ^巧
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第17号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
同意第9号	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	—	○
同意第10号	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	除	○
請願第1号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	○

○は賛成、●は反対、除は除斥、退は退席、欠は欠席 (松井議長は採決に加わらない)
 (同意第9号には細川副議長は採決に加わらない)

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

第1回臨時会
 工事請負変更契約を可決

審議内容

臨時会に付議された、議案3件を審査した。

議案審議

工事請負契約

●議案1号〈全協〉

工事請負変更契約の締結について(河川改良工事(畑村川))

工事用道路として、町道脇今安角浜線を使用する計画であったが、狭あつかつ地域の生活道路であることから、新たに工事用道路を設けて、地元住民の安全確保を図るもの。

- ・変更契約金額 473万円増額
- ・変更後契約金額 1億978万円
- ・契約の相手方 株式会社荒木

【全会一致・可決】

●議案2号〈全協〉

工事請負変更契約の締結について(漁港施設整備工事(畑村川防波堤))

防波堤の基礎捨石施工時に設置した汚濁防止膜を漁業繁忙期間中は漁船の航路を確保するため、一時撤去して、工事再開時に再設置をするもの。

- ・変更契約金額 328万5千7百円増額
- ・変更後契約金額 3億4373万5千7百円
- ・契約の相手方 株式会社こんどう

【全会一致・可決】

●議案3号〈全協〉

工事請負変更契約の締結について(急傾斜地崩壊対策工事(岡田地区))

斜面の立木伐採において、家屋側に傾いて生えている木によって、家屋に被害が及ばないように伐採方法を変更するもの。

- ・変更契約金額 380万5千5百円増額
- ・変更後契約金額 1億3800万円
- ・契約の相手方 株式会社こんどう

【全会一致・可決】

主な質疑

問 工事前の調査で立木が家屋側に傾いていることはわからなかったのか。

答 立木調査も行ったが、伐採方法について、地域住民の安全確保のため、工法の変更をした。



家屋横の立木



完成後の現場

第2回例会 補正予算や当初予算などを 可決

■審議内容

定例会に付議された、

議案28件、諮問1件、同

意14件、請願1件、陳情

1件、発委1件を審査し

た。

○除雪対策事業

4703万4千円増額

○漁港施設整備事業

3805万4千円減額

■主な質疑

大飯地区認定こども園運営委託等事業について、保育士や幼稚園教諭などに対する10月以降の処遇改善はどうか。

問

令和4年度当初予算では、4月から9月分の補助を計上するが、継続することが補助要件であるため、10月以降も処遇改善はされると認識している。

答

県からの核燃料税交付金について、少子化対策事業が新設されたため、以前より町の配分割合が減額されたが、新設された少子化対策事業により、

問

本町にも恩恵があると認識している。

答

新型コロナウイルス感染症拡大により、当初の設計において予期せぬ事業が発生したことや、リモートでの打ち合わせになったことにより、連携が弱くなり、チェックミスが発生したのではないかと認識している。

問

商工会の負担分も増加するが、商工会員は理解し、納得しているのか。

答

昨年末に開かれた、商工会臨時総代会にて工事費増に関する議案が提出され、承認されている。

問

令和3年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)

議案5号〈予算〉

令和3年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)

議案6号〈予算〉

令和3年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

議案7号〈予算〉

令和3年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第3号)

議案8号〈予算〉

令和3年度おおい町特定保健事業特別会計補正予算(第2号)

令和3年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)

支援を講じるためのもの。

【主な質疑】

育児休業取得について
の相談や面談

において、考え方や取り扱いの説明はどのように行うのか。

【答】

さまざまな手続きなどを一覧にまとめた資料を用いて、相談者に十分説明を行っている。

【全会一致・可決】

●議案16号〈総務〉

おおい町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について

期末手当の支給割合を、国家公務員の給与改定に準じて引き下げるもの。

【全会一致・可決】

●議案17号〈総務〉

おおい町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院および福井県人事委員会の勧告に基づき、期末手当において、民間の支給状況などを踏まえ、引き下げるもの。

【主な質疑】

コロナ禍で公務員の仕事が減っている中で、率の引き下げだが、県内の他市町の状況は。

【答】

公務員の給与は、仕事量でなく民間や国との均衡を図って定めるのが法の主旨であり、基本的に県内17市町は同様の対応を行うと認識している。

【討論】

○反対 猿橋 巧議員

地方公務員の期末手当は低い給与の補填であり、生活給であるため条例の

改正に反対である。

【賛成多数・可決】

●議案18号〈総務〉

おおい町国民健康保険税条例の一部改正について

関係政令の公布に伴うものと、福井県が示す国民健康保険の標準保険料率を参考に、被保険者の負担が急増しないよう一定期間を設けたうえで、段階的にその標準保険料率に近づけるため税率を改めるもの。

【主な質疑】

県が示す標準保険料率に対する激変緩和計画の期間と、税率の改正は。

【答】

激変緩和計画の期間は令和15年度までとなっており、その間、税率は毎年改正される。

【討論】

○反対 猿橋 巧議員

毎年、滞納者と滞納額

が減らないのが現実であり、滞納者が死亡する事例が全国で増えてきている。本町でもその危険性が高まるため、条例の改正に反対である。

【賛成 堤 満也議員】

急激な税負担を避けるため、段階的に保険税率の調整がなされている。低所得世帯への軽減措置や子育て世帯の負担軽減のため、令和4年度から未就学児を対象とした軽減措置もなされているため、賛成である。

【全会一致・可決】

●議案19号〈総務〉

おおい町若州一滴文庫の設置及び管理に関する条例の一部改正について

若州一滴文庫の利用料金設定について柔軟性を持たせるため、指定管理者が町に届出することにより設定できるようにするもの。

【主な質疑】

改正する額は、材料費や手間などの積み上げにより積算されたものか。

株式会社とともにぐりが自主事業として行うため、赤字を町が補填するということが考えていない。

【主な質疑】

今回の改正による収入の見直しは、町外の70歳以上が有料になることで、現在の入場者数であれば約2倍の収入になると考える。

【答】

観光船事業では新年度から事業の実施体制が変わることで、委託料などの補助金は出さないこととしているが、運営会社が赤字となっても今後、補填は行わないと考えて良いのか。

【全会一致・可決】

●議案20号〈総務〉

おおい町保健・医療・福祉総合施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

保健・医療・福祉総合施設なごみの給食業務で近年の物流コストや人件費の上昇に対応し、施設入居者および通所利用者の食費に係る利用料金の上限額を上げるもの。

【主な質疑】

改正する額は、材料費や手間などの積み上げにより積算されたものか。

株式会社とともにぐりが自主事業として行うため、赤字を町が補填するということが考えていない。

【答】

経費の積み上げではなく、他の老健施設の費用を参考に、現在の収支の状況から約2割増を設定したものである。

【賛成多数・可決】

当初予算

●議案21号〈予算〉

令和4年度おおい町一般会計予算 76億5700万円

【主な質疑】

観光船事業では新年度から事業の実施体制が変わることで、委託料などの補助金は出さないこととしているが、運営会社が赤字となっても今後、補填は行わないと考えて良いのか。

【答】

株式会社とともにぐりが自主事業として行うため、赤字を町が補填するということが考えていない。

問 県からごども家族館に委託管理され、新年度オープンするスケートパークの関連予算が計上されていないが、当該施設に係る維持管理費はかからないということが良いのか。

答 施設周りの植栽の維持管理や遊具点検などの費用が掛かるが、当初予算ではなく6月補正で計上したい。
※P4・P5(特集ページ)に関連記事あり。

討論

○反対 猿橋 巧議員

一定以上の所得のある被保険者の医療費窓口負担を増加させ、町民の負担が増えることは問題であるため、反対する。

討論

○反対 猿橋 巧議員

原子力関連予算に依存したものとなっていることから反対である。

○賛成 屋敷浩道議員

経常経費や義務的経費がしっかりと組み込まれており、今予算を否決することは、スムーズな予算の執行に歯止めをかけるものとなるため賛成で

【賛成多数・可決】

●議案22号〈予算〉

令和4年度おい町後期高齢者医療事業特別会計予算
1億1565万7千円

討論

○反対 猿橋 巧議員

【賛成多数・可決】

●議案23号〈予算〉

令和4年度おい町国民健康保険事業特別会計予算
8億2608万2千円
【賛成多数・可決】

●議案24号〈予算〉

令和4年度おい町国民健康保険診療事業特別会計予算
8240万28千円
【全会一致・可決】

●議案25号〈予算〉

令和4年度おい町介護保健事業特別会計予算
9億7412万8千円
【全会一致・可決】

●議案26号〈予算〉

令和4年度おい町介護サービス事業特別会計予算
636万1千円
【全会一致・可決】

●議案27号〈予算〉

令和4年度おい町簡易水道事業特別会計予算
1億7448万4千円
【全会一致・可決】

●議案28号〈予算〉

令和4年度おい町農業集落排水事業特別会計予算
2億4298万1千円
【全会一致・可決】

●議案29号〈予算〉

令和4年度おい町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
9214万円
【全会一致・可決】

規約の変更

●議案30号〈総務〉

若狭広域行政事務組合規約の変更に関する協議について
令和5年4月に運営開始予定の、広域の可燃ごみ処理施設に係る運営経費の負担割合を定めるため、組合規約の一部を変更するもの。

主な質疑

各市町の運営経費負担割合の実質ごみ量割は、いつのごみ量割が対象となるのか。

答 令和5年度の負担金は、令和3年度のごみ量に対して算出されることになる。
※P13に関連記事あり。

【全会一致・可決】

補正予算

●議案31号〈全協〉

令和3年度おい町一般会計補正予算(第7号)
844万2千円増額

【主な歳出内容】

○戸籍住民基本台帳事務 330万円増額

○道路維持補修事業 169万7千円減額

○除雪対策事業 807万円増額

主な質疑

マイナンバーカードがあれば転出時

に役場に行く手間が省かれるのか。

答 行かなくても可能となり、利便性が向上する。

問 新たに分譲地が増え、除雪対象範囲は増加したのか。

答 増加はしていないが、除雪計画を毎年度立てているので、必要に応じて対応する。
【全会一致・可決】

人権擁護委員の推薦

●諮問1号〈全協〉

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
任期満了に伴い次の方の推薦を認めた。

【再任】森 美津子 (名田庄下)

【全会一致・承認】

農業委員会委員の任命

●同意14号〈全協〉
おい町農業委員会委員の任命

任期満了に伴い次の方の任命に同意した。

- 岩崎 誠一 (三森)
- 國久 博一 (父子)
- 桑田 一広 (野尻)
- 古池 洋子 (岡安)
- 小原 悟 (岡田)
- 塩野 鐘吉 (畑村)
- 谷口 新市 (鹿野)
- 早川 直助 (名田庄三重)
- 細川 正博 (名田庄口坂本)
- 松井 厚雄 (広岡)
- 松尾 光繁 (名田庄中)
- 松尾 豊 (名田庄中)
- 森 和哉 (名田庄下)
- 渡邊 典子 (笹谷)

【全会一致・同意】

請願

請願第1号

政府の新型コロナウイルス禍で米価格暴落対策が皆無の中、自治体独自の稲作農家への直接支援策を求める意見書提出についての請願

紹介議員・猿橋 巧

コロナ禍という経験したことのない危機的事態のなかで、米価暴落から地域経済と稲作農家の経営を守る立場で、農家への直接支払い支援策を求める意見書をおおい町へ提出することを求めるもの。

意見 農家の深刻な状況は理解できるが、

多くの産業でコロナ禍の影響が出ている中、米価暴落だけの問題をとり上げることは、議会の中立的・公平性に欠けるものである。

意見 福井県農業協同組合及び福井県農政

連が、町に対して、すでに米の価格や燃料などの支援を要請した報告も受けており、まずもって自

町の執行機関は意見書提出の対象ではないことから不採択とすべき。

討論

賛成 猿橋 巧議員

今のままでは多くの米生産農家が米作りから撤退してしまつたため、きめ細かい支援を要望し、この請願に賛成する。

【賛成少数・不採択】

陳情

陳情第1号

シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出をお願いする陳情書

令和5年10月に、消費税において的確請求書等保存方式(インボイス制度)の導入が予定され、

意見書提出

発委第1号(総務)

シルバー人材センターに対する支援を求める意見書について

インボイス制度の導入が予定される中、少額の入収入しかないシルバー人材センターの会員の取り扱い額が減少することなく、またシルバー人材センターの安定的な事業運営が可能となる措置を講じよう政府に求めるもの。

【全会一致・可決】

意見 シルバー人材センターは、高齢者の雇用の場の確保だけでなく、生きがいづくりに大きく寄与するものであることから、センターが安定的に事業運営を維持できるように求める意見書を提出すべきである。

【全会一致・可決】

選挙管理委員の選挙

おい町選挙管理委員

おおい町選挙管理委員および、補充員の任期が3月8日に満了を迎えることから、選挙が行われ、その結果、おい町選挙管理委員には次の方々が当選されました。

選挙日

令和4年2月22日

選挙管理委員会委員

- 小野 与三 (名田庄三重)
- 二谷 忠男 (川上)
- 中谷 真一 (河村)
- 小谷 直美 (尾内)

補充員

- 森 一博 (名田庄下)
- 猿木 能子 (父子)
- 鈴谷 直久 (岡安)
- 神野 淳一 (河村)

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

スケートパークの整備でうみんぴあ大飯エリアに一層の賑わいを

地域振興対策特別委員会

所管事務調査

期 日 令和4年1月13日(木)

場 所 役場 全員協議会室

【参考人】 NPO法人 日本スケートパーク協会

パーク協会

理事長 河崎 覚氏

出席者 委員 8名

委員外 2名

地域振興対策特別委員会では、うみんぴあ大飯の成海緑地に、こども家族館の施設として整備されるスケートパークについて、所管事務調査としてスケートボードに関する勉強会を行いました。



4月9日にオープンしたスケートパーク



昨年の東京オリンピックで注目を集めたスケートボードですが、そもそもスケートボードとはどのようなスポーツ

なのか、委員にほとんど知識が無いことから、委員会として、まずは現場を知ろうと、昨年は「ふくい健康の森スケートパーク」に視察に出向き、施設管理者から、パークやその利用状況についての説明を受けました。

今回は、スケートパークについての専門的知識を持つ参考人として、東京都八王子市の、スケートボーダーで長年スケートパークの設計や運営、調査に携わっておられる、NPO法人 日本スケートパーク協会理事長 河崎覚氏を講師に迎え、オンラインによる勉強会を行ったものです。

内容は、

- ①スケートパークの管理と運用
 - ・見込まれる利用者
 - ・利用におけるルールやマナー
 - ・施設管理における課題と対応など
- ②スケートパークをうみんぴあ大飯エリアの活性化に繋げるためには
 - ・集客と波及効果
 - ・情報発信
 - ・事業者間の連携と情報交換など
- ③町内の愛好者を増やすためには
 - ・地域への発信
 - ・競技の普及など

・ についてで、施設管理者、パークの利用者、うみんぴあエリアへの来訪者、うみんぴあエリアの事業者、地域住民など、それぞれの立場からのスケートパークの在り方について学ぶ機会となりました。



町に対し提言書を提出

こども家族館のスケートパークは、町の魅力アップや誘客にも効果があることから、児童福祉施設としてだけでなく、うみんぴあ大飯エリアの新たなスポット、町の新たな観光資源として捉えることも必要です。多様な層の集客により、交流人口や関係人口の増加、また、町内経済への波及効果に繋がることから、設置者(県)、管理者(町)などの関係者間の調整を十分行い、適切な管理運用と、親しまれるパークとなるような仕組みづくりを進めること。

・ シーシーパークの開業と併せ、スケートパークを活かしたうみんぴあ大飯エリアの活性化について、関係者間の情報共有と連携を図ること。
 ・ 新たなスポーツ人口の増加や地域活動の活性化を図るため、地域住民に対する情報提供や住民主体の活動支援の取り組みを進めること。
 について、町に対し提言を行いました。



若狭広域行政事務組合

若狭広域事務組合では「要介護認定および障がい支援区分認定に係る審査および判定」「広域ごみ焼却施設の整備」を共同処理事業として取り組んでいます。

「斎場の整備」については広域化の検討を進めています。

「要介護等認定および障がい支援区分認定に係る審査および判定」

要介護等認定については平成30年度から、障がい支援区分認定については平成31年度から、おおい町・小浜市・高浜町・若狭町の4市町による共同処理を始めています。

認定基準の平準化を進め、適正な判定による適正なサービスが受けられるように事業推進を図っています。

「広域ごみ焼却施設の整備」

高浜町旧ごみ焼却施設跡地に、令和5年4月稼働に向け建設工事を進めています。

運営経費の負担割合が決まりました。 ・均等割 30% ・実績ごみ量割 70%



建設中の広域ごみ処理場

「斎場の整備」

おおい町・小浜市・高浜町の3市町による共同設置に向け、候補地選定に取り組んでいます。今年度は組合に斎場担当職員を配置し、基本計画の策定に取り組む予定です。

若狭広域事務組合とは…

おおい町・小浜市・高浜町・若狭町の4市町により「今後も持続的に発展できる地域を目指す」を合言葉に地域の力を結集し、新たな魅力と活力の創造に努め、誰もが真の豊かさを実感できる地域の実現に向けて設立されました。



SEE SEA PARK (シーシーパーク) の 進捗状況

町が現在建設中のSEE SEA PARK (シーシーパーク) のチャレンジショップ棟は、2月末時点での進捗率は85%となっています。

外観は屋根部分にフィルムが貼られ、▶
特徴のある建物の姿が出現してきています。



▲テナント棟の進捗率45%です。共に、今夏のオープンに向け工事が進められています。

チャレンジショップ棟

カフェ区画にピリケンが出店し、飲食店2店舗、物販3店舗、シェアオフィスには4区画入居します。

テナント棟

アウトドーストア区画にカンパネラが出店し、テナント区画に飲食店が1店舗、洋服販売店が1店舗入居します。



議会改革の取り組み

現在、おおい町議会では「議会改革」に取り組んでいます。議会だより62号、64号でも報告しましたが、令和4年3月時点での経過を報告します。

通年議会を実施

おおい町議会では「おおい町議会定例会条例」において、定例会を年4回開催することと定めています。

現在、通年議会へ移行するための準備を行っており、新年度に入り、できるだけ早い時期に導入を目指しておりますが、理事者（行政）との協議を慎重かつ丁寧に行っていることから、通年議会実施の時期については、決まり次第報告します。

イメージ図による議会活動の比較

◆現行

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本会議	閉会	会期 臨時会 閉会	会期 6月定例会	閉会		会期 9月定例会	閉会		会期 12月定例会	閉会		会期 3月定例会
委員会			審査 付託議案			審査 付託議案			審査 付託議案			審査 付託議案
閉会中の継続審査（1年間）												



◆通年議会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本会議	・年間を通して会期中となり、議会の判断で、定例会議・臨時会議を開催し、議会審査を行う。											
委員会	・年間を通して委員会活動が可能となる。											

議員定数の議論

本年1月21日に開催しました「議会報告会」で議員定数について町民の皆さまから多くのご意見をいただきました。そのご意見を基に、議会では議員定数の見直しも含めた協議を行っています。

議員定数については、町政への住民意見の反映や討議できる人数、議会力の充実を踏まえた議論を活発に行っており、遅くとも9月には結論を出せるよう協議を進めています。

議員報酬の議論

適正な議員報酬の算定に当たり、議員の活動時間に応じて首長の報酬から割り出す原価方式で基礎数値の算定作業を行いました。定例会や各委員会活動、広域議会や多数の協議会活動など、議員1年間の活動を算定した結果、基本となる活動日数は107日と算出しました。

この数字を基に、議会報告会でいただいたご意見を参考にしながら、適正な議員報酬の検討を行い、7月には結論が出せるよう協議を進めています。

町政二へが聞きたい!

3月定例会では、3人の議員が一般質問を行いました。

タブレット端末の先進的活用を

教育長

幅広い活用方法と教員の負担増加の両面を見ながら対応を進めていく



やしき ひろみち 屋敷 浩道

問

小中学生に整備されたタブレット端末における運用実績と課題は。

答

(町長) 授業での活用は、各教科においてタブレット端末を利用しての発表やクラスメートの考えを共有する際に活用している。動画の撮影やパワーポイントの作成、学習発表会のスライドに利用するなど総合的な学習においても活用している。また、オンラインによる個別学習の

対応や新型コロナウイルスの影響により自宅待機となった児童・生徒に授業風景の配信を行うほか、県外の学校との交流なども行っている。課題として文字入力など児童・生徒一人一人の操作スキルの違いにより、これまでの授業に比べ時間がかかることや、日々進化するICTソフトへの教員スキルのレベルアップが必要となっている。

問

ICTを利用した今後の先進的な活用は。

答

(教育長) 町においては家でタブレットを使用し授業を受けるオンライン授業と、学校に通学し授業を受ける対面式の両方を組み合わせたハイブリッド型授業ができる環境は整っているが、運用面での工夫が必要。児童・生徒の操作スキル、教員の活用スキルの向上が必要。

問

ICT支援員の増員、訪問回数が増加が急務である。

答

(町長) ICT支援員の適正な配置と有効な活用を含めて、教職員のスキル、ノウハウの定着も同時に考えて



問

ネットいじめへの対応は。

答

(教育長) 児童・生徒が被害者や加害者にならないためにも学校や保護者と連携しながらネット上のいじめの把握に努めるとともに、対応するための教員の研修会を定期的に実施したい。

学校給食における地産地消は

問

学校給食で使われている若狭牛やアマダイなどの高級食材に対する児童・生徒の価値観の構築はできているか。

答

(給食センター所長) 提供の頻度にも関係すると思うが、認知度は低い。学校給食における地産地消の推進ならびに児童・生徒の価値観の構築を含め一層の情報提供の充実を図る。

問

学校給食で地元産米の利用を促進し、地産地消の推進を。

答

(給食センター所長) 町内にある営農組合ならびに営農農家の給食用米の新たな物資納入業者としての参入は町の食育、地産地消の観点からも有益なものであり、町内業者納入率アップを目指す上でも具体性のある方策と考える。米の品質管理の安全性や安定供給の確保の状況を確認の上で今後検討していく。

問

今後の取り組みは。

答

(町長) 今後の感染状況を注視するとともに国や県の動向を踏まえ、商工会を通じて情報を得ながら効果的な支援策を検討していく。

問

販売実績と評価は。

答

(商工観光課長) 販売実績は6,500万円分のうち6,363万5,000円分を販売し、販売率は97.9%で、そのうち6,326万7,000円分が使用



※昨年7月に販売開始された商品券。3種類の券があり、利用方法が分かりにくいとの声があったが、使用率は、99.4%と高い数字を残した。

本町のカワウによる被害状況は

町長 放流魚の5〜6割が食害にあっている



つじ 辻 とおる 徹

問 カワウによる水産被害が全国的に広がっているが、本町における被害の状況は把握しているのか。

答 (町長) 2年度の被害額は南川88万円、佐分利川21万円である。南川における放流魚約4万尾のうち5〜6割が食害にあっている。釣り客への風評被害も懸念される。

問 コロニー(集団営巣地)の場所や個体数は確認できているのか。

答 (農林水産課長) コロニーと考えられる大島の冠者島において、生息調査を実施している。3年度には330羽確認している。

問 カワウ被害への対策は。

答 (農林水産課長) 思うように捕獲が進んでいないのが現状である。各河川漁業協同組合では、花火、ナイロンテグス、スリングショットやドローンなどを活用した追い払いを実施している。

問 河川漁業協同組合や猟友会、地元住民と協力、連携して今後の対応策を検討していく必要があるのではないのか。

答 (副町長) 町は県に対して被害防止対策を検討するよう要望している。県や近隣市町、各関係者の連携が一番効果的であると認識している。

問 水中に魚の隠れ場所を作るのも有効である。

答 (町長) 規模の大きい河川ではないので難しい。みんなの力で追い払いをすることが一番効果的。

問 水中に魚の隠れ場所を作るのも有効である。

答 (町長) 規模の大きい河川ではないので難しい。みんなの力で追い払いをすることが一番効果的。

問 河川漁業協同組合や猟友会、地元住民と協力、連携して今後の対応策を検討していく必要があるのではないのか。

答 (副町長) 町は県に対して被害防止対策を検討するよう要望している。県や近隣市町、各関係者の連携が一番効果的であると認識している。

かわうすは

体長約80cm 翼開長約130cmの大型鳥類



- 集団で行動 → 集団でくわら、コロニー(集団営巣地)を形成。
- 高い潜水能力 → 水深15mまで潜ることも。
- 早い潜水スピード → 最大秒速4.7m、魚が泳ぐスピードより早い。
- 高い移動能力 → 1日50km飛ぶこともある。
- 高い繁殖能力 → 条件が良ければ1年中繁殖できる。
- 大食漢 → 1日1羽あたり約500g捕食。



計画している合宿施設の現況は

問 スポーツロッジ栄光に代わるスポーツ文化体験交流合宿施設は今年度実施設計を行っているが現況は。

答 (社会教育課長) 2年度に基本設計を行っており、現在実施設計を鋭意進めている。スポーツに限らず、文化活動などにも活用できる施設として設計を進めている。

問 現在建設資材の不足、高騰が世界的に問題であるが、工法の検討もしているのか。

答 (社会教育課長) 設計を進める中で工法の変更までは行っていないが、宿泊者の利便性に直接影響しない附帯設備の縮減などをすすめている。

問 附帯設備の縮減を検討しているというのだが、後で必要になったから追加の工事というようなことがないようにはすべき。

答 (社会教育課長) 材料の変更など、利用者の不便にならないような部分で工事金額を抑える努力をしている。現在想定しているスケジュールは。

問 資材の高騰や不足で、工期が見込めないのが現状。

答 (社会教育課長) 移転、新築することなどで、どのような効果を期待しているのか。

答 (教育長) 利用者の利便性が大きく向上する。住宅地と離れることにより、周辺住民のストレスも軽減できる。スポーツに限らず、さまざまな使い方ができる新しいスタイルの合宿

問 スポーツ協会やスポーツ団体、料飲組合、株式会社おおいなど関係者を集めた協議会を発足させて意見聴取をすべきではないか。

答 (教育長) 協議会までは考えていないが、必要に応じ関係者と協議していく。



スポーツロッジ栄光

災害時の住民避難対策は万全か

町長 自主防災組織で防災力を底上げし、生命と財産を守る



たくみ 巧
さるはし 猿橋

必要に応じて福祉避難所へ移送し、施設入居者については、各施設が策定している避難計画において対応される。

問 災害時の住民避難対策は万全か。

答 (町長) 自主防災組織の設立と、集

落ことの詳細な自主防災マップの作成や研修会などを開催し、防災力を底上げして住民の生命と財産を災害から守っていく。在宅および施設入居者の避難と受入先の具体化は進んでいるのか。

答 (副町長) 在宅の要援護者に対しては、自主防災組織などにおいて避難体制を確保し

必要に応じて福祉避難所へ移送し、施設入居者については、各施設が策定している避難計画において対応される。

問 原子力災害の避難訓練の教訓は、どのようにに生かされているのか。

答 (防災安全課長) 防災訓練から得られる一利一害をしっかりと検証し、これからも訓練を積み重ねることで原子力防災の実行性を高めていきたい。

答 (町長) ワクチン接種は、対象者の9割以上が2回目の接種を終え、追加接種も昨年12月の医療従事者から始まり、施設入所者や65歳以上の高齢者の接種もおおむね完了し、現在、18歳から64歳に順次接種を案内している。また、小児専用枠として、3月12日から、なごみ診療所と名田庄診療所にて接種をスタートし、希望数に応

新型コロナウイルス感染症拡大への対策は万全か

問 感染者が増加する中で、ワクチン接種数や年齢引下げの対応と実施状況および今後の対策は。

答 (町長) ワクチン接種は、対象者の9割以上が2回目の接種を終え、追加接種も昨年12月の医療従事者から始まり、施設入所者や65歳以上の高齢者の接種もおおむね完了し、現在、18歳から64歳に順次接種を案内している。また、小児専用枠として、3月12日から、なごみ診療所と名田庄診療所にて接種をスタートし、希望数に応

文化遺産の掘り起こしと活用のあり方に工夫を

問 町内19全ての城郭の発掘を計画的に進め、城郭マップと回遊路線でPRを図っては。

答 (教育長) 現在発掘調査を進めている石山城跡の保存を図りつつ、町が参加している福井城巡りプロジェクトと連携しながら、その活用やPRを図りたいと考

じて進めている。感染された高齢者は入院措置が必要だと考えるが。(すこやか健康課長)

入院を必要とするような高齢者などが感染された場合や、自宅経過観察中に容体が急変した場合などでは適切に入院治療につなげることができるとは体制は確保できている。

えている。



石山城跡

人口減少対策は

問 町人口統計の推移からみた政策の評価は。

答 (まちづくり課長) 町の人口ビジョンでは、2060年の人口約5,800人を目標に掲げ、第2次おおい町未来創生戦略に基づき、妊産婦支援事業、進学サポート事業など子育て世帯への継続的な支援の取組を進めてきたことが一定程度身を結びつつあるものと考えており、今後もし子供たちが町に残りたい、帰ってきたいと思えるように、おおい町未来創生戦略に基づく取組が重要と考えている。



おおい町内の山城

おおい町内の山城分布図

追跡

あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

ちょっと
深掘り！

移住者の交流の場や ネットワークを作っては

町に移住された方々の意見を伺う交流の場やネットワークを作ってはどうか。

(平成28年3月議会 原田和美 議員)

町長答弁

どのような方法が有効 か検討する

情報を集めて、どういう方法がとれるかを検討していきたい。

どうなった？

移住者交流会を開催

令和元年度から、町に移住された方々の交流の場である「移住者交流会」を開催。



開催された移住者交流会

第2次おい町未来創生戦略 (令和2年3月策定) では…

人口ビジョンにおいて今後の人口減少が予想される中で、町の活力増加や人口の維持（「合計特殊出生率の向上」や「転入の増加あるいは転出の抑制」）への取り組みが示されています。

町は令和4年度でも「移住定住交流推進事業」に取り組みますが、移住者の方々の生の声や貴重なご意見を伺いながら進めることが大切だと考えます。

令和4年度の取り組み(抜粋)

⇒詳しくは「まちづくり課」まで

●移住コーディネーター

移住者への情報発信や相談対応を行い、きめ細やかな移住定住施策を進めます。

●お試し住宅

町内での生活を体験していただく住宅を用意しています。

●お試し滞在支援

移住を目的に活動される方に、旅費の一部を助成します。

●移住支援金

県外からの移住者（子育て世帯等）の転居負担の軽減のため支給します。

おい町
移住定住
情報サイト

スマイル
住ま入る  hi

ワンコが 繋いだ赤い糸

本郷(12の2区)

*椎茸農家三代目(川上椎茸生産組合)

*チヨークアーティスト

池野 大樹さん

池野 有菜さん
(愛知県出身)



今回の輝く人では、2月に結婚されたばかりの笑顔溢れるご夫婦にお話を伺いました。



Q おふたりの馴れ初めは?

A 川上で迷い犬が見つかり、動物愛護センターに連絡をしたことで、そこに勤めていた妻と知り合いました。

Q しいたけ生産のお仕事はどうですか?

A 祖父と一緒に仕事をしていて、しいたけは主に京都へ出荷しています。

Q 大樹さんがチヨークアートを始められたきっかけは?

A 妻からチヨークアートをプレゼントしてもらい、それを見て自分も書いてみようかな、と始めました。初めは、ワンクオーレのお客様にお渡ししていましたが、徐々に注文をいただくようになりました。

Q ドッグトレーナーとはどんなお仕事ですか?

A 犬のしつけやトレーニング、困り事の相談や



アドバイスを行います。自宅へ向く出張トレーニングや、お留守時のペットシッターもお請けしています。

Q ドッグトレーナーとしての有菜さんの夢は。

A まずは、全ての飼い主さんとワンちゃんが笑顔で暮らせることが一番です。学校での生命の教室や施設や病院でのセラピードッグ、災害時のペットの避難や、また、猿被害対策に猿追い犬を訓練するような事例があるので、地域貢献の面で興味を持っています。これはかなり難しそう。

Q おおい町の感想は?

A 結婚する前からおおい町が好きなので、おおい町民になれて嬉しいです。夢を持ち起業したい人を後押ししてくれる、こんな町は他にはないと思います。

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は6月です。傍聴については議会事務局(77-4060)までお問い合わせください。

6月定例会 の予定

会期：6月6日から6月22日まで(17日間)
本会議：6日(議案提案理由説明)、16日(一般質問)、22日(採決)
委員会：総務・産業建設常任委員会(9日)、予算決算常任委員会(6、7日)
原子力発電対策・地域振興対策特別委員会(10日)

編集後記

今冬は大雪に見舞われ、雪かき作業に明け暮れた日々でしたが、ようやく春が訪れ桜も満開になりました。

コロナ禍で中止となっていた議会報告会が開かれました。大島、本郷、佐分利、名田庄の4地区で開催された報告会には、たくさんの方にご来場いただき、活発な意見交換ができました。貴重なご意見は今後の議員活動の糧とさせていただきます。主な意見に対する見解を、おおい町議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。中塚寛町長3期目がスタートします。示される町の方向性に議員一同しっかりと目を向けてまいります。(辻記)

広報特別委員会

委員長	堤 満也
副委員長	原田 和美
委員	辻 徹
〃	細川 正博
〃	田中 秀樹
〃	屋敷 浩道